

遺伝子受託解析サービス

サンプル送付方法

1、 解析を希望される各サンプルを適切な大きさのチューブに入れます。

(お願い)凍結新鮮組織は、RNA 分離作業前にチューブから組織を取り出しやすいよう、組織サイズに対して空隙を確保できる大き目のチューブに入れてください。

サンプルタイプ	状態	輸送温度	冷却材
Total RNA	水溶液	冷凍(-20°C)	ドライアイス
ゲノム DNA	水溶液	冷凍(-20°C)	ドライアイス
PCR 産物、cDNA	水溶液	冷凍(-20°C)	ドライアイス
組織	新鮮、凍結	冷凍(-20°C)	ドライアイス
	RNA 抽出用試薬*溶解液	冷凍(-20°C)	ドライアイス
	RNA 保護剤**浸漬	冷蔵または冷凍	保冷剤またはドライアイス
	※少なくとも一昼夜冷蔵(4°C)条件で浸漬した後、発送してください。		
細胞	ペレット、凍結	冷凍(-20°C)	ドライアイス
	RNA 抽出用試薬*溶解液	冷凍(-20°C)	ドライアイス
	RNA 保護剤**浸漬	冷蔵(4°C)	保冷剤

*TRIzol, ISOGEN, QIAzol などのフェノール系試薬及びシリカ吸着タイプ分離キットの溶解/結合試薬
 **RNAlater など



危険

・ドライアイスを手で扱うのは危険です。凍傷にならないように、手袋などの保護をするなどして、注意してお取り扱いください。
 ・組織、細胞から核酸を抽出するために使用する液体窒素を取り扱う場合は、各施設の取り扱い基準に従って、防護メガネ、防護手袋を使用するなど、危険防止の上、お取り扱いください。

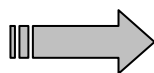
2、 液漏れ・乾燥を防ぐため、チューブのフタ部分をパラフィルムなどで密封します。



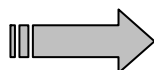
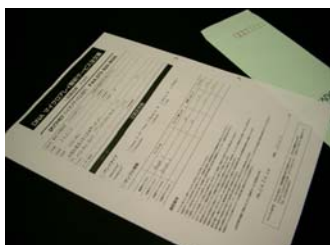
- 3、 輸送途中の破損を避けるため、チューブをエアクッションなどで保護します。ただし、クッションが厚すぎるとドライアイスの冷却率が落ち、サンプルが十分に冷やされなくなるためご注意ください。



- 4、 十分量のドライアイスと一緒にサンプルを輸送用の箱に詰めます。この際にサンプル全体をドライアイスが覆うように入れてください。またドライアイスは少し砕いたほうが冷却率は高くなります。

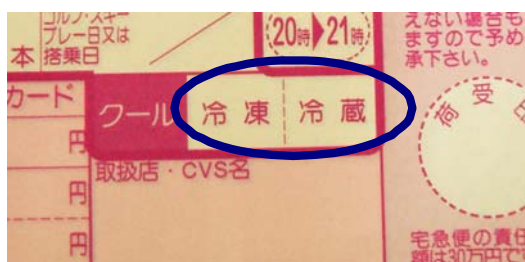


- 5、 注文書にご所属・ご氏名・サンプル情報など必要事項をご記入いただき、防水のためビニール袋に入れてサンプルに同封してください。



- 6、 サンプル・注文書の入った箱をしっかりとフタをして、冷凍便または冷蔵便にてお送りください。

【ご注意】 土曜日、日曜日、祝日のサンプル受け取りは行っていませんので、指定しないでください。



「冷凍」または「冷蔵」を指定